2020年度　QPFS活動報告

残念ながら　とにもかくにもコロナに明け暮れた年でした。下の表で見ていただければ明白なように　かなりの数の研修・セミナーが参加申し込みなしでキャンセルされました。最初の国内感染者が報告されたのが1月でしたが、クルーズ船でのクラスター感染が大きな話題となった2月、7都道府県に緊急事態宣言が発令され、それが全国に拡大された4月にあっては　キャンセルが顕著にでました。

研修　（上位や下位のコースがあって　体系的な習得を期待されているものを研修と呼んでいます）

|  |  |
| --- | --- |
| 1月 | 大阪　内部監査員研修　（FSA主催） |
| 名古屋　責任者研修　（環境科学主催） |
| 札幌　責任者研修　（サクシード主催） |
| 大阪　指導員研修　（FSA主催） |
| 2月 | 福岡　責任者研修　（QPFS主催）→　参加者なしでキャンセル |
| 大阪　責任者研修　（サクシード主催） |
| 東京　責任者研修　（サクシード主催）→　参加者なしでキャンセル |
| 3月 | 三重県　責任者研修（環境科学主催）→　コロナ禍を理由の自粛でキャンセル |
| 大阪　内部監査員研修　（FSA主催） |
| 東京　責任者研修　（サクシード主催） |
| 東京　内部監査員研修　（QPFS） |
| 4月 | 大阪　経営者向け研修　（FSA主催）→　参加者なしでキャンセル |
| 7月 | 大阪　内部監査員研修　（FSA主催） |
| 8月 | 東京　責任者研修　（サクシード主催） |
| 名古屋　責任者研修　（環境科学主催） |
| 9月 | 静岡　責任者研修　（サクシード主催）→　参加者なしでキャンセル |
| 10月 | 大阪　責任者研修　（サクシード主催） |
| 岐阜　責任者研修　（環境科学主催）これ以降　環境科学はQPFSを離れる |
| 12月 | 大阪　基礎研修　（FSA主催） |
| 大阪　責任者研修　（FSA主催） |

セミナー（体系的とはいえず　時宜にかなった話題　あるいはスタンドアローンなものをセミナーと呼んでいます）

|  |  |
| --- | --- |
| 1月 | 名古屋　熱殺菌工学１，２　（環境科学主催） |
| 2月 | 大阪　飲食（RTE）HACCPセミナー　（FSA主催） |
| 近畿HACCP実践研究会、FSA、QPFS合同　飲食HACCPセミナー |
| 3月 | 東京　飲食（RTE）HACCPセミナー　（QPFS） |
| 4月 | 大阪　飲食（RTE）HACCPセミナー　（FSA主催）参加者なしでキャンセル |
| 4月 | 大阪　飲食（RTE）HACCPセミナー　（FSA主催） |
| 6月 | 大阪　飲食及び飲食デリバリーのためのHACCP　（FSA主催） |
| 7月 | 東京　飲食及び飲食デリバリーのためのHACCP　（QPFS） |
| 8月 | 大阪　飲食及び飲食デリバリーのためのHACCP　（FSA主催） |
| 9月 | 大阪　感染症対策セミナー　（FSA主催） |
| 11月 | 大阪　飲食（RTE）HACCPセミナー　（FSA主催） |

一部の人間から　「この時期にセミナーを計画するなどけしからん」といった　根拠のないそしりを受けることもありました。何でもかんでもZoomに切り替えないと研修・セミナーを維持できない・・・といった極端に弱気の意見も出てきました。その中　QPFSは　食品安全のような話題は　対面形式でないと正確には伝えられないと　あくまで体面形式にこだわってきました。

おかげ様で　最近では　対面だから申し込んだ　という受講者が多く出てきています。私自身もですが　そろそろ　中身の薄いZoom研修に嫌気がさしている人たちも多くなってきているのでしょう。薄日が差してきているといった感触です。

コロナへの対応としては　換気が一番大切であると　飲食HACCP関連セミナーの中では強調しています。ユニバーサルマスク等と旗振り提唱している人たちもいますが　実際にはマスクの抑止効果はほとんどなく　マスクは「目で見てすぐわかる　コロナに対する関心度の高さ指標」として同調圧力まで持つようになってしまったに過ぎないという事を正確に伝えることが必要と感じたからです。これはパーティションについても同様で　人間はどうしても目で見てすぐわかる対策（実は効果が薄いのだが　対策としてひっきりなしに喧伝されているため認知度が高く、かつ　パッと見てわかる形式で　周囲に対して対策を実施している事を強調できるもの）になびく傾向にあるようです。このような視覚に訴えるものが　実際に効果を上げるものよりも過大に評価される傾向にあるという人間行動の矛盾は　リスク学会で報告しました。

社外活動の禁止も多くなり　2月に予定していた定期理事会・社員総会は　メールで実施するオンライン会議（法務局あたりでは　これを書面決議というそうです）となりました。

対外・対内活動

|  |  |
| --- | --- |
| ３月 | オンライン　社員総会・理事会 |
| 4月 | アースディ奈良　WEB開催 |
| 9月 | 法務局　変更事項届け出完了 |

関西大学における講義も　前期（春学期）はすべてWEB形式となりましたが　学生にアンケートを取ったところ　友人と会えない　社会的な交流がない　WEB形式の授業内容に不満があるで　鬱の引き金となる素因を持っていたようです。これは他の大学での調査でも同様で　それこそが後期（秋学期）よりの対面授業の復活の原動力でした。

後期になって　対面授業が復活したのですが　教室の中では　学生同士の私語が禁止され、着座は間を空けて、おまけに課外活動は　実質すべて禁止となれば　通常生活には戻ったといい難く　（現在　答案の採点中ですが）及第点に達しない学生の割合は　今までで最高の水準となりました。

大学における教育

|  |  |
| --- | --- |
| 1月 | 関西大学　食のリスクマネジメント講座　2019年度後期終了 |
| 4月～7月 | 関西大学　食のリスクマネジメント講座　2020年度前期　すべてWEB講義 |
| 9月～12月 | 関西大学　食のリスクマネジメント講座　2020年度後期 |

一般開放のセミナーは　2月に三団体合同で　飲食HACCPセミナーを開催まではしたものの　あまりにも集客が悪く　2020年についていえば　羹に懲りて膾を吹くではありませんが　その後　二度とセミナーを企画することはありませんでした。時期が時期であったことは　もちろんですが　そんなときだからこそ　本当に訴求力をもった話題を掲げなければ人は集まらないということでしょう。こちらから情報を提供するというよりは　向こうから探しに来てくれるような話題です。　何所かと組むにしても　そこが　本当に集客力を持っていない限り　貢献度は低いということでしょう。私も会員として所属している　集客力を自負しているほかの団体でも　繰り返し繰り返しイベントの告知をするようになってきていることから　今は非常に客集めが難しい時期に至っているのだと感じさせられます。パラダイムシフトが起きているのでしょう。今までと同じやり方を踏襲していても　研修・セミナーの成功は　おぼつきません。リモートワークやステイホームの所産として　いままでやらなかった人までがインターネット検索をすることが盛んになってきています。話題となりやすいテーマで　インターネット検索の上位に進むこと　心に刺さるキーワードを表題にも入れておくこと（例えば対面形式）が今後の方向かと思います。